

様式第1号の2

(第1面)
木造建築士免許申請書

<p>私は、木造建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添え、申請します。</p> <p>私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>氏 名 _____</p> <p>静岡県知事 静岡県指定登録機関 様 公益社団法人静岡県建築士会</p>									
ふ り が な 氏 名					生年 月 日	年 月 日生		<p>写 真</p> <p>1 縦4.5cm、横3.5cmの 写真の裏面に氏名及 び撮影年月日を記入 してのりで貼り付け てください。</p> <p>2 貼付した写真は免許 証に転写されます。</p>	
本 籍					性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>			
現 住 所	〒 _____				電 話 _____				
試 験	木造建築士試験に合格した年 年								
	合 格 通 知 書 日 付		年 月 日		合 格 番 号		号		
登録申請区分		1 学歴 <input type="checkbox"/> 2 学歴+実務 <input type="checkbox"/> 3 実務 <input type="checkbox"/> 4 建築士法第4条第5項 <input type="checkbox"/>							
1 の み 記 入 学 歴 に よ り 申 請 す る 場 合	学 校 名		学 部 名 ・ 学 科 名		入 学 ・ 卒 業 （ 修 了 ） 年 月				
					年 月 入学 年 月 卒業（修了）				
					年 月 入学 年 月 卒業（修了）				
2 場 合 の み 記 入 学 歴 + 実 務 に よ り 申 請 す る	学 校 名		学 部 名 ・ 学 科 名		入 学 ・ 卒 業 （ 修 了 ） 年 月		建築実務経験期間の 合計		
					年 月 入学 年 月 卒業（修了）		年 月		
					年 月 入学 年 月 卒業（修了）				
3 合 の み 記 入 実 務 に よ り 申 請 す る	建築実務経験期間の合計								
	年 月								
4 場 合 の み 記 入 建 築 士 法 第 4 条 第 5 項 に よ り 申 請 す	免 許 の 名 称		免 許 者 名		免 許 の 年 月 日		資格認定書の 年月日		
					年 月 日		年 月 日		

(第2面)

欠 格 事 由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日	ある□ ない□ 年 月 日			
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日	ある□ ない□ 年 月 日			
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 あるときは、その日	ある□ ない□ 年 月 日			
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士、又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	ある□ ない□ 年 月 日から 年 月 日まで			
	5 精神の機能の障害により二級建築士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。	はい□ いいえ□			
※審査					
※登録番号		※登録年月日	年 月 日	※受付番号	

注意 数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。

以下の事項は、円滑な登録実施のために必要となりますので、記入についてご協力ください。

告示等に基づく学歴等区分 (登録申請時)	□ 5 0 大学・短大 高専(本科+専攻科)卒 40単位	□ 5 1 職能大(短大)卒 40単位	□ 5 2 大学・短大 高専(本科+専攻科) 職能大等卒 30単位	□ 5 3 大学・短大 高専(本科+専攻科) 職能大等卒 20単位
	□ 5 4 高校・中学卒 20単位	□ 5 5 高校・中学卒 15単位	□ 5 6 専修(高校卒) 2年以上 40単位	□ 5 7 専修(高校卒) 2年以上 30単位
	□ 5 8 専修(高校卒) 1年以上 20単位	□ 5 9 専修・職訓校(中学卒) 2年以上 15単位	□ 6 0 専修・職訓校(中学卒) 1年以上 10単位	□ 6 1 職訓校(高校卒) 3年以上 30単位
	□ 6 2 職訓校(高校卒) 1年以上 20単位	□ 6 3 職訓校(中学卒) 3年以上 20単位	□ 6 4 実務経験	□ 6 5 建築設備士 その他 (平成20年度以前の 入学者等)

○木造建築士免許申請書の記入例

様式第 1 号の 2

(第 1 面)

木造建築士免許申請書

私は、木造建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添え、申請します。				
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。				
① 令和○年 ○月 ○日				
氏名 ② 静岡 太郎				
静岡県知事 静岡県指定登録機関 様 公益社団法人静岡県建築士会				
③ ふりがな氏	しずおか 太郎 静岡 太郎	生年月日	④ 平成○年○月○日生	⑧ 写真 1 縦 4.5cm、横 3.5cm の写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入してのりで貼り付けてください。 2 貼付した写真は免許証に転写されます。
⑤ 本籍	○○県○○市○○町○○番地	⑥ 性別	男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>	
⑦ 現住所	〒×××-×××× ○○県○○市○○町○○番地の○ □□マンション ×××号室		電話△△△-△△△△-△△△△	
⑨ 試験	木造建築士試験に合格した年 令和◇◆年			
⑩ 合格通知書日付	令和◇◆年○月○日		⑪ 合格番号	R◇◆4B×××××△
⑫ 登録申請区分	1 学歴□ 2 学歴+実務 <input checked="" type="checkbox"/> 3 実務□ 4 建築士法第 4 条第 5 項□			
⑬ 1 学歴により申請する場合のみ記入	学校名	学部名・学科名	入学・卒業（修了）年月	
			年 月入学 年 月卒業（修了）	
			年 月入学 年 月卒業（修了）	
⑬ 2 学歴+実務により申請する場合のみ記入	学校名	学部名・学科名	入学・卒業（修了）年月	⑭ 建築実務経験期間の合計 2 年 0 月
	○○県立□□工業高等学校	建築科	平成 27 年 4 月入学 平成 30 年 3 月卒業（修了）	
			年 月入学 年 月卒業（修了）	
⑬ 3 実務により申請する場合のみ記入	⑭ 建築実務経験期間の合計			
	年 月			
⑬ 4 建築士法第 4 条第 5 項により申請する場合のみ記入	免許の名称	免許者名	免許の年月日	資格認定書の年月日
			年 月 日	年 月 日

(第2面)

⑮ 欠 格 事 由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日	ある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/>	年 月 日		
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日	ある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/>	年 月 日		
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 あるときは、その日	ある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/>	年 月 日		
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士、又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	ある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/>	年 月 日から 年 月 日まで		
	5 精神の機能の障害により二級建築士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/>			
	※審査				
※登録番号		※登録年月日	年 月 日	※受付番号	

注意 数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。

以下の事項は、円滑な登録実施のために必要となりますので、記入についてご協力ください。

⑯ (登録申請時) 告示等に基づく学歴等区分	<input type="checkbox"/> 5 0 大学・短大 高専(本科+専攻科) 卒 40 単位	<input type="checkbox"/> 5 1 職能大(短大) 卒 40 単位	<input type="checkbox"/> 5 2 大学・短大 高専(本科+専攻科) 職能大等卒 30 単位	<input type="checkbox"/> 5 3 大学・短大 高専(本科+専攻科) 職能大等卒 20 単位
	<input checked="" type="checkbox"/> 5 4 高校・中学卒 20 単位	<input type="checkbox"/> 5 5 高校・中学卒 15 単位	<input type="checkbox"/> 5 6 専修(高校卒) 2 年以上 40 単位	<input type="checkbox"/> 5 7 専修(高校卒) 2 年以上 30 単位
	<input type="checkbox"/> 5 8 専修(高校卒) 1 年以上 20 単位	<input type="checkbox"/> 5 9 専修・職訓校(中学卒) 2 年以上 15 単位	<input type="checkbox"/> 6 0 専修・職訓校(中学卒) 1 年以上 10 単位	<input type="checkbox"/> 6 1 職訓校(高校卒) 3 年以上 30 単位
	<input type="checkbox"/> 6 2 職訓校(高校卒) 1 年以上 20 単位	<input type="checkbox"/> 6 3 職訓校(中学卒) 3 年以上 20 単位	<input type="checkbox"/> 6 4 実務経験	<input type="checkbox"/> 6 5 建築設備士 その他 (平成20年度以前の 入学者等)

○木造建築士免許申請書の記入要領

①申請年月日

和暦で記入してください。

②氏名

住民票上の氏名を正確に記入してください。（署名でなくても可）

③ふりがな氏名

住民票上の氏名を正確に記入してください。

その他の申請書類に記入されている氏名と相違が無いことを確認してください。

④生年月日

生年月日を和暦、算用数字で記入してください。（例）平成〇〇年〇〇月〇〇日

⑤本籍

住民票上の本籍を、都道府県から番地まで正確に記入してください。

⑥性別

チェック欄に「✓」を記入してください。

⑦現住所

現住所を都道府県から番地、建物名と部屋番号まで正確に記入してください。

電話番号は市外局番から記入してください。

⑧写真

「無帽・無背景・正面上3分身、縦4.5cm×横3.5cm（パスポートサイズ）」の写真を貼付してください。※コピー用紙等の写真専用紙以外に印刷しているものは無効です。

⑨二級・木造建築士試験に合格した年

合格通知書に記載されている合格年を記入してください。（例）令和◇◆年

⑩合格通知書日付

合格通知書に記載されている合格年月日を記入してください。（例）令和◇◆年〇月〇日

⑪合格番号

合格通知書に記載されている合格年と受験番号を、以下の例を参考に記入してください。

和暦年号を、アルファベットで記載（平成＝H、令和＝R）

（例）令和◇◆年合格の受験番号4B－46002L⇒ R◇◆4B46002L

⑫登録申請区分

申請区分のいずれかのチェック欄に「✓」を記入してください。

⑬学歴、実務経験期間、法第四条五項に関する必要事項（名称、年月日等）の入力

「⑫登録申請区分」に応じた正しい情報（名称、年月日等）を記入してください。

⑭建築実務経験期間の合計（⑫登録申請区分 2 学歴+実務、3 実務のみで申請する方）

「実務経歴書」に記載した「建築実務経験期間の合計」を記入してください。

⑮欠格事項

チェック欄に「✓」を記入してください。

⑯告示等に基づく学歴等区分（登録申請時）

該当する学歴に応じた単位や資格等のチェック欄に「✓」を記入してください。